

# 富山県高岡市の動物園のハクチョウ 高病原性鳥インフルエンザ（疑い事例）について

昨日、富山県の動物園で飼養されていたコブハクチョウ2羽が死亡し、うち1羽が県の簡易検査の結果、高病原性鳥インフルエンザに感染している疑いがあることがわかり、現在、富山県で検査中です。概要は以下のとおりです。

## 1. 動物園の概要

高岡古城公園動物園(市営)

所在地:富山県高岡市古城1-6

飼養状況:ハクチョウなど計160羽

## 2. 経緯

- (1) 12月16日午前8時、動物園がコブハクチョウ2羽が死亡していることを確認。
- (2) 午前11時、県がインフルエンザ簡易検査で2羽中1羽の陽性を確認。
- (3) 県においてリアルタイムPCR検査及びウイルス分離検査を実施(検査中)。
- (4) 高岡市では、念のため、動物園を閉園とする方針。
- (5) なお、仮に高病原性鳥インフルエンザと確認されたとしても、コブハクチョウは、家きんではなく家畜伝染病予防法に基づく殺処分や移動制限は行われません。
- (6) 富山県は、既に周辺の半径10km以内の家きんの飼養農場に聞き取り調査を行い、特段の異常がないことを確認しています。

**日頃から「飼養衛生管理基準の遵守」を徹底すること！  
とても重要です！**

-  野鳥などの野生生物の飼育施設への侵入防止
-  水道水や塩素で消毒された飲用水の使用
-  農場関係者以外の出入りの制限
-  出入口での人、車両の消毒の徹底
-  飼養している家きんの健康観察 など

いつもと何か違う?! と感じるような異常を見つけたら、すぐにご連絡を!

飛騨家畜保健衛生所

高山市上岡本町7-468

TEL(0577)33-1111 FAX 32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

